

■第9回あきたスマートシティ協議会 議事録

日時	平成25年3月19日(火) 10:00~12:00	
場所	秋田市にぎわい交流館 研修室1、2	
参加者 (敬称略)	検討会 委員	<p>NPO 法人科学協力学際センター：川添理事長（委員長）</p> <p>秋田大学教育文化学部地域科学課程：西川准教授（副委員長）</p> <p>東北大学大学院環境科学研究科：古川准教授</p> <p>秋田県立大学システム科学技術学部建築環境システム学科：板垣准教授</p> <p>東北電力株式会社 秋田営業所：菅原副調査役</p> <p>東部ガス株式会社 秋田支社：佐藤副支社長（代理：八百屋氏）</p> <p>秋田商工会議所：岩本専務理事</p> <p>一般社団法人あきた地球環境会議：福岡事務局長</p> <p>秋田県産業労働部資源エネルギー産業課：三浦課長（代理：楨沢氏）</p> <p>秋田県生活環境部温暖化対策課：石郷岡課長（代理：永田氏）</p> <p>日本IBM株式会社：加茂 Smarter City 推進部長</p> <p>ジョンソンコントロールズ インク：三田村ディレクター（代理：小玉氏）</p> <p>アイ・エム・サービス株式会社：大山取締役統括部長</p> <p>コクヨファニチャー株式会社企画本部新規事業開発室：飯沼課長</p> <p>秋田市環境部：佐藤部長（欠席）</p> <p>株式会社日本総合研究所：小長井 マネージャー</p> <p>計15名（順不同）</p>
	事務局	秋田市環境部、株式会社日本総合研究所
配布資料	<p>資料1 あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会 委員名簿</p> <p>資料2 情報統合管理基盤WG 協議会報告資料</p> <p>資料3 地域ESCO・LEED WG 協議会報告資料</p> <p>資料4 地産エネルギーWG 協議会報告資料</p> <p>資料5 電子地域通貨・低炭素モビリティWG 協議会報告資料</p> <p>資料6 環境リーダー・ビジョンWG 協議会報告資料</p> <p>資料7 来年度協議会運営方針（案）</p> <p>資料8 第8回協議会議事録</p> <p>補足資料 あきたスマートシティ地域ESCO事業の実施について</p> <p>90歳ヒアリングより描く秋田市の未来—自然とともに生きる町—</p> <p>循環型社会形成へ向けた新たなマイバッグ使用推進のための調査報告書（概要版）</p> <p>秋田市サイクルガイドマップ</p>	

1 WG 活動報告及び次年度活動方針

各 WG より資料の説明後討議を行った。主な議論は以下の通り。

(1) 情報統合管理基盤 WG

・ BEMS の導入が進んだ次の段階は、集中管理を行いたいと考えている。

(2) 地域 ESCO・LEED WG について

・ エネルギー削減に関する効果の PR をより積極的に行う必要がある。

(3) 地産エネルギーWG

・ 秋田市内のペレット需要は少ないため、需要の掘り起し、他機関への協力要請などを行っていく。

(4) 環境リーダー・ビジョン WG

・ 90 歳ヒアリングの成果であるイラストについては、広く市民の目に触れるよう、掲示や HP 掲載を行っていく。

・ パークレット（小規模休憩スペース）整備に関しては、あきた地球環境会議と連携して検討していく。

2 来年度協議会運営方針

・ 協議会は WG 報告の場から長期的な方向性の検討を行う場としていく。

3 その他

・ 国の資金を獲得する取組みを行っていく。

4 次回協議会スケジュール

次回第 10 回協議会は 5 月後半から 6 月前半に開催を予定。

以上